

2024年度自転車競技普及事業 事業の実施内容及び成果に関する報告書

1. 事業名 プロ自転車チームのリソースを活用した自転車競技志向層の肉厚化及びその母体となる自転車競技関心層の裾野拡大
2. 事業の実施経過
 - (1) 事務手続き関係
 - 2024 年 2月28日 申請書提出
 - 2024 年 4月 1日 決定通知書受理
 - 2024 年 4月 2日 事業の決定
 - 2024 年 4月 2日 事業の実施
 - 2025 年 3月 26日 事業完了報告書提出
 - (2) 事務関係
 - 2024 年 4月 2日 CYCLE LIFE 株式会社と契業務委託基本契約締結
3. 事業実施内容及び成果
別紙1のとおり
4. 業界等において今後予想される効果
別紙2のとおり

別紙1（事業実施内容及び成果）

・2024年4月～9月（上期）の間に実施した内容については既に2024年10月18日付け「途中経過報告書」により報告済みであり、当実施内容（成果）報告書については、同年10月～2025年2月（下期）に実施した内容について主に報告します。具体的には以下タイムラインの赤枠を指します。

・なお、成果については上期の課題を踏まえた総括としての成果報告としていること、また経費支出実績等については年度計として報告していることにご注意ください。

[illegible][illegible]

（1） 实施内容

今年度は大きく4つの事業の実施。

I. 自転車競技志向者向け

- ① レベル別レース（サイクルカップ）
- ② レベル別レッスン（ローラー台レッスン）

Ⅱ. 自転車競技関心（潜在）層向け

- ① 自転車ツーリズム（サイクリング）
- ② レース観戦（ツーリズム）

以下、それぞれの実施内容について報告します。

※ナンバリング表記は途中経過報告（中間報告）と重ならないよう上期からの通しとなっている
のでご注意ください。

< I. 自転車競技志向者向け>

① レベル別レース（サイクルカップ）の開催【4回実施（4回予定）】

・プロ自転車チームの選手と共に走る、技術・経験レベル別のレースを実施。

（目的）

参加者の自転車競技レベルの自己確認や新たな目標設定の機会にすることで競技意欲やモチベーションアップにつなげていく。

（レース開催内容）

（ア）広島中央森林公園コース（三原市）

■ 2024 年度第3回サイクルカップ

※ 箇所：表現平易化、参加レベルの公正化のため従来の基準を下期から修正

- 日時：2024 年10月5日(土)9:00～14:30
- 場所：広島県立中央森林公園（広島県三原市本郷町上北方 1315）
- コース：中央森林公園ショートコース 2.7km（周回）
- カテゴリー；（7カテゴリー）
 - ・エンデューロ 40：40 分間の耐久形式。V1～V3 相当
 - ・V1：競技志向の方や他大会経験者、入賞経験者、JCF 登録者、V2 入賞経験者
 - ・V2：競技志向の方や他大会経験者、V3 入賞経験者
 - ・V3：JCF 未登録経験者向け、V4（過去初心者カテゴリー）入賞者
 - ・V4：ロードバイクを始めたばかりの方、レースに初めて出場される方、レース経験少ない方
 - ・キッズ（小学 4～6 年生）：レース未経験歓迎、自転車自由
 - ・キッズ（小学 1～3 年生）：レース未経験歓迎、自転車自由
- 出走人数：65人

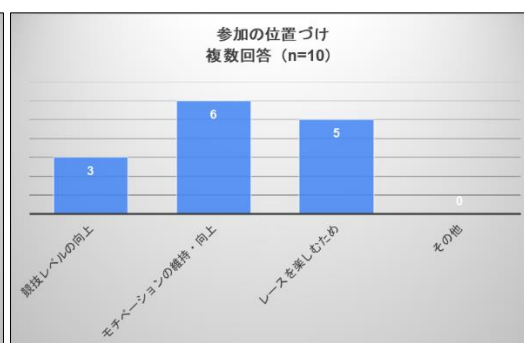
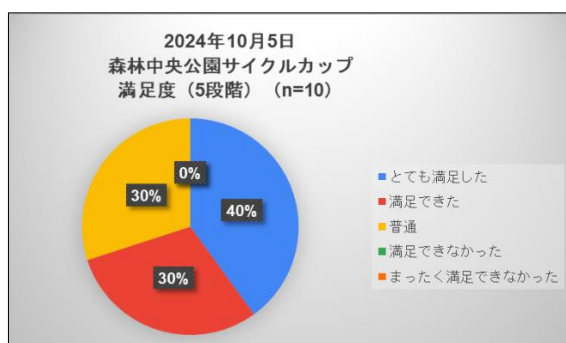
大会スケジュール		受付開始8:25～		中央森林公園		
カテゴリー	受付終了	スケジュール 開始	終了	周回距離	周回数	総距離
試走 (キッズ～V4)		9:00	9:20			
キッズ (小学1～3年生) 自転車問わず	8:55	9:25	9:40	2.7km	1	2.7km
キッズ (小学4～6年生) 自転車問わず	9:15	9:45	10:05	2.7km	2	5.4km
V4	9:40	10:10	10:35	2.7km	3	8.1km
表彰式 (キッズ～V4)		10:45	11:00			
試走 (エンデューロ40～V1)		10:40	11:00			
エンデューロ40	10:40	11:10	12:10	2.7km		
V3	11:45	12:15	12:55	2.7km	5	13.5km
V1,V2 同時スタート	12:30	13:00	14:00	2.7km	10	27.0km
表彰式 (エンデューロ～V1)		14:10	14:25			
閉会		14:30				





■ カテゴリー別リザルトは別表3のとおり

■ アンケート結果（回答件数：10 件、回答回収率：15.4%）



■ 参加者の声

・ 県外から初めてのレース参加でしたが、ヴィクトワールの選手がレース前後に声を掛けて下さって嬉しかったです。（10代女性）

- ・運営が丁寧。参加クラスの実力が多い。(40代男性)
- ・選手と一緒に走れたことで充実感が大きかった(50代男性)
- ・それぞれのカテゴリーレベルに参加者がマッチしており、変なレベル詐欺は少なかった。(40代男性)

(イ) 沼田自動車学校コース(広島市)

■ 2024年度第4回サイクルカップ

_____箇所：表現平易化、参加レベルの公正化のため従来の基準を下期修正

- 日時：2024年11月23日(土)9:00~14:30
- 場所：沼田自動車学校
広島県広島市安佐南区伴西1丁目1-1
- コース：自動車学校周回コース(730m×n周)
- カテゴリー；(6カテゴリー)
 - ・V1：競技志向の方や他大会経験者、入賞経験者、JCF登録者、
V2入賞経験者
 - ・V2：競技志向の方や他大会経験者、V3入賞経験者
 - ・V3：JCF未登録経験者向け、V4(過去初心者カテゴリー)入
賞者
 - ・V4：ロードバイクを始めたばかりの方、レースに初めて出場さ
れる方、レース経験少ない方
 - ・キッズ(小学4~6年生)：レース未経験歓迎、自転車自由
 - ・キッズ(小学1~3年生)：レース未経験歓迎、自転車自由

カテゴリー	受付終了	レーススケジュール		周回距離	周回数	総距離
安全講習		9:00	9:20			
試走(キッズ~V4)		9:20	9:40			
キッズ(小学1~3年生) 自転車同乗者	8:55	9:45	10:00	730m	4	2.9km
キッズ(小学4~6年生) 自転車同乗者	8:55	10:05	10:25	730m	8	5.8km
V4	8:55	10:30	10:55	730m	10	7.3km
表彰式(キッズ~V4)		11:15	11:30			
試走(V3~V1)		11:10	11:30			
V3	11:15	11:45	12:20	730m	18	13.1km
V2	11:55	12:25	13:05	730m	25	18.2km
V1	12:40	13:10	14:00	730m	35	25.5km
表彰式(V3~V1)		14:15	14:30			
閉会		14:35				

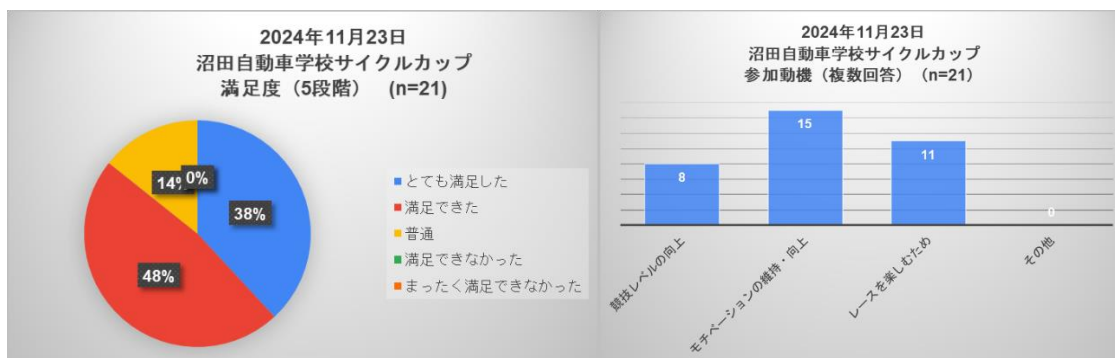


- エントリー人数：88人、出走人数：81人



■カテゴリー別リザルトは別表4のとおり

■アンケート結果（回答件数：21件、回答回収率：25.9%）



■参加者の声

・初心者でも参加できるレースがあるのは、自転車競技がやってみたい人達にはありがたいと思います。（10代男性）

- ・レースも楽しめたし選手の方とたくさんお話しができ楽しかった。(10代男性)
- ・試走やレースで選手走れて、走ってない時でも気軽に話もでき、よい時間が過ごせました。(40代男性)
- ・選手・監督と一緒にレーススピードで走れるプレミア感が良い。全体の雰囲気良くて居心地が良かった。(40代男性)
- ・沼田自動車学校でのレースは参加者が多く、モチベーションが上がります。(50代男性)

(今年度の成果)

- ✓ 「参加者の自転車競技レベルの自己確認や新たな目標設定の機会にすることで競技意欲やモチベーションアップにつなげていく」という目標を掲げたプログラムに対して、10代、20代の若年層、40代、50代のミドル層に参加いただいた。
- ✓ その上でアンケートによる満足度調査では「大変満足」「満足」が上期に続き7～8割程度を占めるなど、レースレベルのバイタリティ化・公正化も相まってプログラム自体は満足度が高い内容となっていると言える。
- ✓ また、同アンケートによる参加動機を見ると「モチベーション維持・向上」が最も多く、次いで「レース自体を楽しむ」「競技レベルの向上」となっていた。これは、自転車競技志向層が自分の実力を確認する場だけでなく、スポーツ自転車愛好家にとっても、腕試しや仲間と楽しんで走るコミュニティの場としての期待が高いことを示しています。
- ✓ 自転車競技志向層にとって自分の実力を確認するなど「モチベーションの維持・向上」に活用していることが確認でき、またスポーツ自転車愛好家にとっても競技に向かう腕試しの場、仲間と楽しんで走るコミュニティの場になっていることも確認できた。
- ✓ 今後の課題として、若年層のより一層の取り込みと共に、「ローラー台レッスン」や「サイクリング」など、他のプログラムとの連携を強化し、競技志向者が自己のレベルを試し、向上させることができるほか、より広範な自転車愛好家が競技の楽しさを体験できる場づくりを引き続き取り組んでいきたい。

② レベル別レッスン（ローラー台レッスン）の開催
【延べ88回実施（90回程度予定）】

- ・プロ自転車チームの選手を講師に、レベル別の通年育成プログラムを

実施。

(目的)

集団での行動やフェアプレイ精神を学ぶとともに、屋内ローラー台レッスンを通じテクニックを兼ね備えた選手の育成。

(レッスン内容(10月~2月))

- 年間90回程度の開催予定に対し、下期40回、通年88回を開催済み。

➤ 開催頻度・日時

月4回、2クラス

・火曜日クラス 毎週火曜日 19:00~20:30

・水曜日クラス 毎週水曜日 19:00~20:30

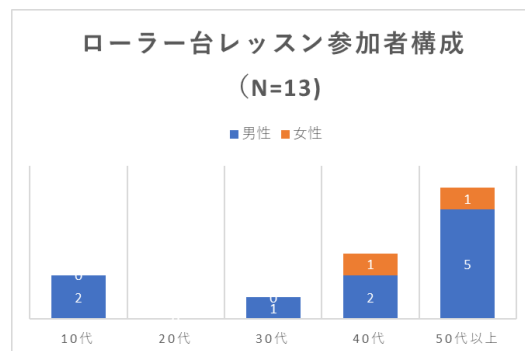
<参加者:(2月末現在)>

・火曜日クラス:5人 指導選手2人

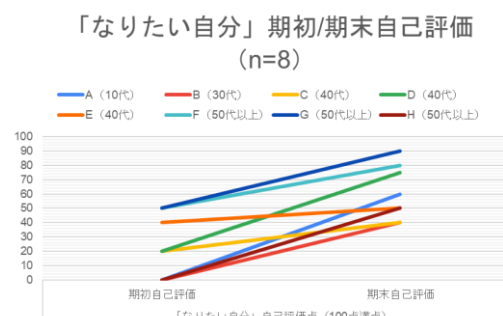
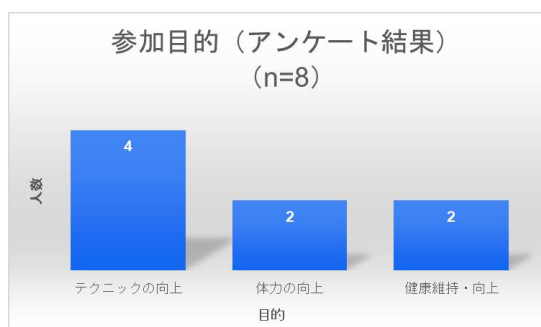
・水曜日クラス:8人 指導選手2人

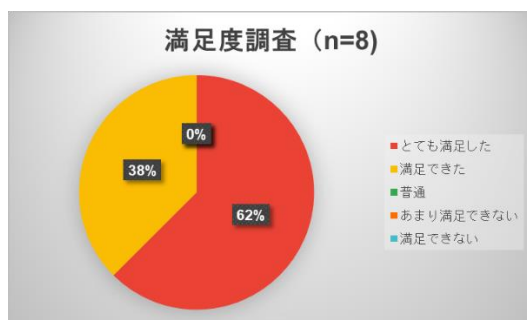
➤ 場所

TRIPLE cafe & run & bike (広島市中区大手町一丁目4-5)



■アンケート結果(回答件数:8件、回答率:61.5%)





■参加者の声

- ・レッスン通い始めて、漠然と目指していた競技者という夢も今シーズンの成長で現実的な目標にまで近づいてきたと思っています。(10代男性)
- ・プロ選手の身体の動きを見ることができ、レッスンは貴重な時間になっています。選手の強さがわかるローラー台レッスンで、とても刺激になっています。これからも甘えることなく、続けていきたいです。(40代女性)
- ・個人的にはフィジカル強化よりも、力の入れ方/抜き方や意識すべきポイントなど、より基礎的な技術寄りの内容だとありがたいです。(40代男性)

(今年度の成果)

- ・参加者一人一人の目標やウオントに答えられるように参加者と一層のコミュニケーションを取り、レベル等に応じたレッスン方法や個別アドバイスを行うなど技術の向上に向けた柔軟な取組みを行うことを心掛けた。
- ・当レッスンの参加者を俯瞰するとスポーツバイク歴のボリュームゾーンは5年以内と年齢にかかわらず経験・テクニック・体力不足を感じている発展途上の方が多い。また、目的もアンケート結果では専ら体力の向上かテクニックの向上、又はいずれもの向上という方が多く、何らかの課題を抱えて技術・テクニックや体力の向上を目指すといった当レッスンの所期の目的に合致した参加者に多く参加いただけた。
- ・また、同アンケート結果において効果(自己評価)について期初・期末評価(100点満点)を行ったところ、期初の0～50点に対して期末は40点～90点と総じて40点程度を平均とする向上が見られ、中には向上幅で60点以上、絶対点では期末時90点という参加者もいた。また、同アンケート回答者からは全員、レッスンを継続したいという意向が示されるなど、レッスン効果や満足度について高い評価になったと推察できる。
- ・今後の課題として、若年層のより一層の取り込みと共に、個別指導により競技志向者が自己のレベルを向上させることができる場づくりに引き続き取り組んでいくとともに、成果の表現、確認の場として「サイクルカップ」や「サイクリング」など、他のプログラムとの連携を一層図っていきたい。

<Ⅱ. 自転車競技関心（潜在）層向け>

① 自転車ツーリズム（サイクリング）の開催【3回実施（3回予定）】

・プロ自転車チームの選手と共に地域の魅力ある景勝地等を走るツアーを実施。

（目的）

広島地域及び隣接地域の自然豊かな景勝地を巡ることで、スポーツ自転車走行の魅力や自転車で走ることの喜びを発見する機会を提供するとともに、選手との直接の触れ合いを通じて、自転車競技関心層の拡大及び自転車を通じた健康づくりの意識醸成を目指す。

i.とびしま海道サイクリング（島しょ部）<広島県呉市>

瀬戸内海に浮かぶ島々を、庭園をわたる飛石(とびいし)にたとえて名付けられた自然豊かで特産品のかんきつ類たくさんの「安芸灘とびしま海道」を走破し、自転車旅の楽しさを味わった。

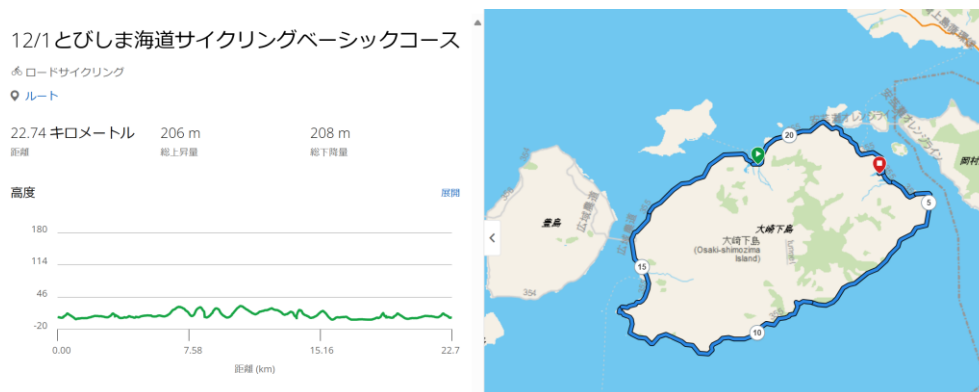
- 日時：2024 年 12 月 1 日(日)9:30～（14:00 終了）
- 場所：大崎下島～豊島（呉市）
- コース（2コース）

☆ベーシックコース

平均速度：15km /h～

走行距離：約 23km

参加者：18 名（一般 15 名、小学生 3 名 /男性 9 名、女性 9 名）



☆ミドルコース☆

平均速度：20～30km/h

走行距離：約 44km

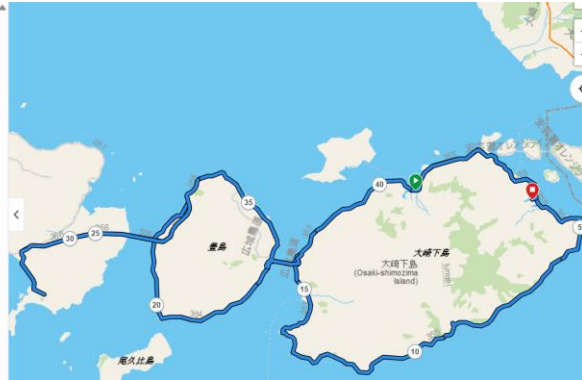
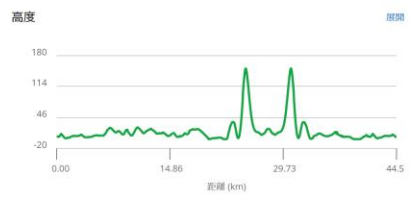
参加者：26 名（一般 27 名、小学生 1 名 /男性 23 名、女性 5 名）

12/1とびしま海道サイクリングミドルコース

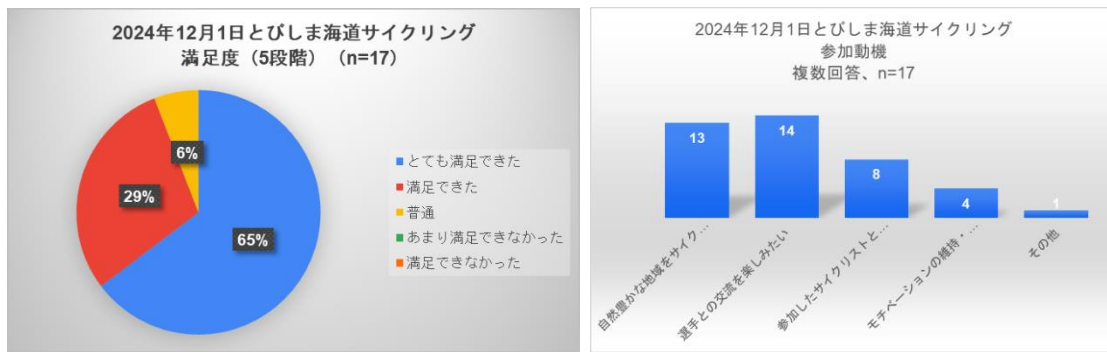
※ロードサイクリング

📍ルート

44.59 キロメートル 538 m 538 m
距離 総上昇量 総下降量



■満足度調査結果（回答件数：17件、回答回収率：38.6%）



■参加者の声

- ・もう少し距離を走りたいと思いましたが、コースの強度は丁度良かった。（30代女性）
- ・私にとっては難易度が低すぎました。午前午後ともサイクリングだったら、ミドル行っていたかもしれません。（30代男性）
- ・選手の方が優しく話しかけてくださったり、間近でプロの走りを体感することができたり、とても楽しかったです。（40代女性）
- ・交通量が少なく、風光明媚な所をサイクリングしたいです。（70代男性）
- ・サイクリングイベントの開催が例年と比べて少なかったなので、来シーズンは、増やして欲しいと思います。（50代男性）
- ・できればバーベキューやってほしいです。夜のパーティーは苦手なので。（30代男性）

ii. 江田島サイクリング（島しょ部）＜広島県江田島市＞

広島湾に浮かぶ江田島の海沿いの景色を感じながら選手たちと走り、また地元ならではの食事を楽しみサイクリングの醍醐味を味わった。

- 日時：2024年1月21日(日)9:00～（14:30終了）
- 場所：広島県江田島市
- コース（3コース）

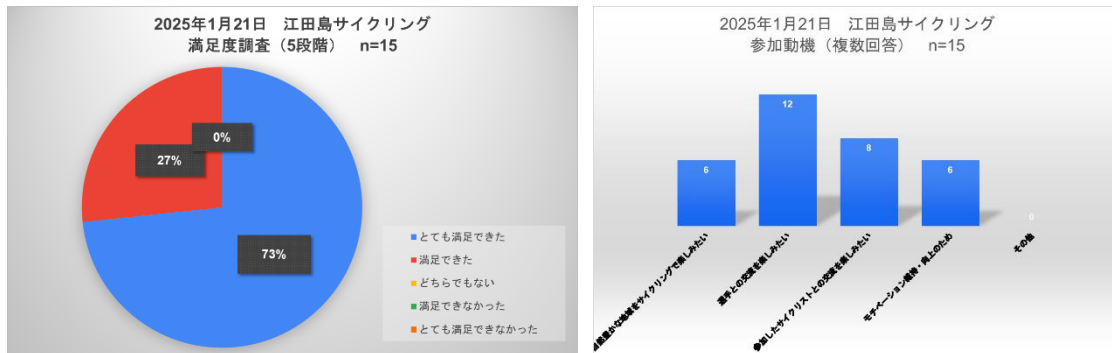
☆ベーシックコース☆

平均速度：15～25km/h

走行距離：約35km

参加者：3名（一般3名、小学生0名 /男性2名、女性1名）

■満足度調査結果（回答件数：15 件、回答回収率：38%）



■参加者の声

- ・新加入のプロ選手とたくさん交流できてよかったです。（10 代男性）
- ・少しペースが物足りなかったなので、ミドルの中でも早め～遅めがあったらいいなと思いました。（40 代男性）
- ・交流も楽しく、海も綺麗でした。いろんな経歴のサイクリスト先輩にたくさんお会いできて、とても楽しかったです。（40 代女性）
- ・ほどよい距離で休憩などで選手とも話す時間もあり、充実したイベントでした（40 代男性）
- ・選手の気遣いがあり、気持ちのよいペースで走ることができた。（40 代女性）

（今年度の成果）

- ✓ 「スポーツ自転車走行の魅力や自転車で走ることの喜びを発見する機会を提供するとともに、選手との直接の触れ合いを通じて、自転車競技関心層の拡大及び自転車を通じた健康づくりの意識醸成を目指す」というプログラムに対して 10 代から 80 代まで幅広い層に参加いただいた。
- ✓ その上でこの度行ったアンケートによる満足度調査では「大変満足」「満足」が9割を超えるなど、瀬戸内海の風光明媚なコース設定と地元企業との共創によりプログラム自体は満足度が高い内容となっていると言える。
- ✓ また、同アンケートによる参加動機を見ると順位は異なるものの「選手との交流を楽しみたい」「自然豊かな地域をサイクリングで楽しみたい」「参加したサイクリストとの交流を楽しみたい」にそれなりのボリュームがあり、次いで「モチベーションの維持・向上のため」となっている。これは、上期のしまなみ海道サイクリング同様に瀬戸内海等の島しょ部でしか味わえない海の上を橋を伝って走っていくとい

う非日常的体験ができるというポテンシャルとともに、プロ選手やサイクリスト同士と一緒に行動できるということが大きな満足度やモチベーションにつながっているということが言える。

- ✓ 今後も、プロ選手と一緒に走れ、地域の豊かさや多様な方々と触れ合える well-being を実感できるサイクリングコースを設定・実施し、自転車愛好家の裾野の拡大につなげるとともに、サイクリングツーリズムを通じた地域の方々との交流を通じて地域課題のひとつである関係人口、交流人口の増加に貢献する取組としたい。

② レース観戦ツーリズムの開催【4～9月：1回実施（1回実施予定）】

- ・地域イベント・旅行関連会社と連携したプロレース観戦ツアーを実施。

（目的）

- ・JBCF 佐木島ロードレース（広島県三原市）、同広島クリテリウム（広島県広島市）を対象に、レースを解説付きで間近で楽しめるツアーを実施し、自転車競技関心層の拡大及び健康作りや遊びに自転車を選ぶ行動変容を促進。

（上期に予定プログラムは実施済み）

(成果のまとめ)

- ・ 欧州などのような自転車文化とするためには、自転車競技のトップポジションを更に高め、多くの方に認知してもらうことが重要であるとともに、その自転車競技志向層を育てていくためにもその母集団となる自転車愛好家層の裾野を広げていくことが重要と考えています。
- ・ 今年度の取組は、実力を試す・モチベーションを上げていくための「レベル別レース」、技術や実力を高めていくための「個別レッスン」、またスポーツ自転車をレジャーや遊びの切り口からまずは楽しんでもらうための「サイクリング」、そもそも自転車レースを見たことがないという方たちのための「観戦ツアー」をそれぞれ実施した。
- ・ その結果としてわかったことは、それぞれのプログラムは相互に関係性を持っており、一体的な運用が自転車競技志向者の技術力向上、自転車愛好家の裾野拡大に効果があることがより一層わかった。
- ・ 今年度の取組を活かし、様々なレイヤー層のニーズに応え引き続き同様の取組を継続することで自転車競技を頂点に自転車を文化とする活動に貢献していきたい。

別紙2（業界等において今後予想される効果）

- 今年度の取組の重要なファクターとなったのが「プロ自転車チーム」の協力である。彼ら自身の訴求力も手伝って、プロ自転車選手に教わる、一緒に走れる、体験できるということが参加者の大きなモチベーションになっていると言える。
- 地域にあるプロ自転車チームの貢献あり方として、またプロ自転車チームにとってもファン層の増加拡大、新たな収益源の創出としても大きな可能性を秘めている。
- また、今回はひとつのプログラムに特化せず、「レース」、「レッスン」、「ツーリズム」「観戦」といった多角的な取組みを行ったが、前述のとおりそれぞれのプログラムは相互に関係性を持っており、一体的な運用が自転車競技志向者の技術力向上、自転車愛好家の裾野拡大に効果があると考えられることから取組モデルのひとつとして成り立つのではないかと考える。